

第3章 課題整理

3-1. まちづくりの方向性

上位計画やアンケート結果により、まちづくりの方向性を整理します。

①人口減少、少子高齢化への対応

余市町では、今後も少子高齢化の進行により、人口減少が続くことが想定されます。

札幌市をはじめとする他都市への人口流出の加速も、アンケート結果から推察されます。行政に関わるサービスは、ICTをはじめとするデジタル技術を駆使して省力化や業務効率化を図り、現在の水準を向上することで町民の利便性を確保する必要が考えられます。

②拠点・都市規模の設定

64Pの将来都市構造図に示すとおり、本町は西部地区・中部地区・東部地区の3エリアに大別されており、この度実施したアンケートでは、東部地区に位置づけられている黒川町は、買い物、金融機関、病院・診療所、保育園・幼稚園等、通所型福祉施設のいずれも利用場所として最も選択されており、これらが立地されているJR余市駅東側のエリアを、余市町の拠点の最重点エリアと位置づけることができます。

しかしながら、既存市街地が形成されている大川町（東部地区）、浜中町・美園町（中部地区）、沢町・富沢町（西部地区）においても、後述する都市機能施設利用エリアを基に従来の都市計画マスタープラン（以下、「旧計画」という。）における、拠点の考え方を再検討することが必要です。

これらの拠点のあり方と人口減少を見据え、上述したとおりJR余市駅東側のエリアの黒川町を最重点エリアと位置づけるとともに今後の人口減少を見据えた他のエリアの都市機能施設の立地状況等を勘案し、コンパクトなまちとなるような都市規模を設定することが必要と考えます。

③防災・減災対策の強化

黒川町の拠点化に際しては、余市川の洪水浸水想定区域に該当するため、防災・減災対策の強化が必要といえます。

地域内の居住人口は、都市のコンパクト化により増加が予想されるため、更なる避難施設の確保・拡充が求められます。また、町民自らの防災意識醸成のためには、避難訓練や防災教育の実施が考えられます。

④空き家の増加が招く居住環境低下への対応

余市町民の多くは、居住年数が25年以上かつ居住形態が持ち家といったライフスタイルであることがアンケート結果から示されています。近い将来に空き家が大量発生し、公衆衛生の悪化や倒壊による被害など周辺に悪影響を及ぼすことが懸念されます。

居住環境の保全を図るには、中古住宅の流通売買を円滑に行うしくみや組織、あるいは地域で空き家を管理して治安や景観の維持につなげる方法などの検討が考えられます。

⑤住民主体のまちづくりの推進

今回のアンケートでは、多くの住民がまちづくりに関してさまざまな問題意識を抱えていることが把握できました。町民の意見は、広く・継続的に取り入れ、施策に反映できるしくみを構築することが求められます。

都市計画マスタープラン及び立地適正化計画が、実効性のある計画とするために住民主体のまちづくりを進め、持続可能な都市運営を図ることが重要と考えられます。

3-2. 課題の整理

都市計画マスタープランの見直しにあたっては、「第5次余市町総合計画」で示されている取り組み等を反映させて、まちの活力である人口の増加とその維持、増加する交流人口への対応など、余市町で暮らす人々、訪れる人々が、安心して過ごせるまちづくりが求められます。

ここでは、旧計画の課題を基本的に踏襲しつつ、余市町の現状や住民意向調査の結果、さらにまちづくりの方向性を踏まえ本計画の課題を以下のように整理します。

※課題-1から課題-5において、黒文字の項目は旧計画から引き継がれた項目、赤文字は追加された項目

課題-1. 人口減少に応じたコンパクトなまちづくりと効率的な行政サービス

【都市運営・都市防災】

- 市街地拡大の抑制・コンパクトな都市構造の実現
- さまざまなライフスタイルに応じた居住環境の提供
- 公営住宅の建替と改善の促進
- 空き家・空地対策と利活用
- 災害に強いまちづくり
- 町民自らの防災意識醸成と住民主体のまちづくり

課題-2. JR並行在来線経営分離に伴う都市構造を見据えた見直し

【土地利用】

- 既存中心街の再構築と活性化の推進
- 沿道型商業施設の適切な配置
- 工業・流通機能の適切な配置
- 市街地周辺の農地の適切な保全と活用
- 市街地内や縁辺部のみどりの保全と活用

【道路】

- 都市の骨格となる機能的な道路網の形成
- 歩行者・自転車が安全・安心に通行できる道づくり

【公園緑地】

- 都市計画公園・緑地の整備促進
- 水辺の緑や街路樹によるネットワークの形成

課題-3. 公共交通ネットワークの見直し

【交通システム】

- 高速交通ネットワークの形成（アクセス路）
- 町内公共交通ネットワークの構築
- 交通結節点（バスターミナル）の強化

課題-4. 流入人口低下がもたらす地域経済悪化への対応

【景観形成・観光振興】

- 各々の履歴や特徴を踏まえた個性ある地区形成（街並みづくり）
- 主要観光資源の機能拡充と周辺景観の形成
- 観光・商工業と一次産業の連携による魅力向上
- 町内観光ルートづくり
- 定住・関係人口の増加

課題-5. 老朽化が進む公益施設の更新・再編

【公共施設】

- 公共施設のバリアフリー化の促進
- 上下水道の整備促進
- 廃棄物処理施設の整備検討
- 公共施設の集約・複合化
- 未来技術の導入等SDGsへの対応